

弦楽合奏団
エテルニータ

弦楽合奏団エテルニータ第17回コンサート

2023. 2.18 [土] 14:00 開演
(13:30 開場)

栃木県総合文化センター サブホール

弦楽合奏団エテルニータコンサート in 茂木2023

2023. 2.23 [木・祝] 14:00 開演
(13:30 開場)

茂木町民センター ゆずもホール



PROGRAM



パーセル

シャコンヌ

H.Purcell:Chaconne

ブラヴェ

フルート協奏曲 イ短調

Michel.Blavet:Flute Concerto in A minor

《フルート独奏：佐藤真人》

ラター

弦楽のための組曲

John.Rutter:Suite for Strings

*** 休憩 ***

プッチーニ

菊

Giacomo.Puccini:Crisantemi

山田栄二

生き物たちに捧ぐ 第二組曲



ごあいさつ

本日は弦楽合奏団エテルニータ第17回コンサートにご来場いただき、誠にありがとうございます。
当合奏団は、できる限りレベルの高いアンサンブルを目指し、毎年コンサートを開催してきました。
しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止により演奏会の延期を余儀なくされ、今回の第17回コンサートは、2019年10月の第16回から4年ぶりの開催となりました。

加えて今回は、弦楽合奏の響きを広く県内の子どもたちに生で聴かせたいとの思いから、2023年2月23日(木・祝)に「茂木町民センター ゆずもホール」において宇都宮市と同じプログラムでコンサートを開催いたします。

今回のコンサートは、前回に引き続きファゴット奏者の吉澤真一氏を指揮者に迎え、フルート奏者として県内外で活躍中の佐藤真人氏とともにブラヴェのフルート協奏曲を演奏いたします。

また、前回演奏し好評を博した、山田栄二氏の「生き物たちに捧ぐ」に引き続き、「生き物たちに捧ぐ 第二組曲」を演奏いたします。地球上に生息する大小様々な生き物たちに着目し、その姿や動きを弦楽合奏で表現します。

結びに日頃の皆様のご支援に深く感謝しますとともに、尚一層の精進をお約束して、17回目コンサートのあいさつとさせていただきます。

弦楽合奏団エテルニータ



←═══════════▶ **本日のプログラム (吉澤真一)** ════════════▶

ヘンリー・パーセル (英1659~1695) : シャコンヌ

パーセル以降ビートルズまで世界に名を馳す音楽家はイギリスから出なかった、と云われる程、偉大な業績を残している。王室の為の煌びやかな音楽、教会音楽、歌劇等、36年の人生の間に800に及ぶ作品を残している。

そして今回取り上げる様な、人の心の言葉に現せないような贅(ひだ)の部分を音で表現すると云う領域に到達した最初の作曲家とも言える。バロックに在りながらその精神はロマン派に達していた。

更に今回の「シャコンヌ」からは能や狂言に通じる「幽玄」とも言える世界観を感じさせられる。

ミッシェル・ブラヴェ (仏1700~1768) : フルート協奏曲 イ短調

ブラヴェは本来フルート奏者であり、その卓越した演奏能力は、当時の大作曲家テレマンやクヴァンツからも高く評価されていた。

この協奏曲は、その技量をこれ見よがしに披瀝した超難曲に仕上がっている。

I楽章 Allegro, II楽章 Gavotte, III楽章 Allegro

またブラヴェはフルートを左に構え吹いていたと云う伝説の奏者でもある。

ジョン・ラター (英1945~) : 弦楽のための組曲

ラターは主に合唱の分野で活躍している作曲家、指揮者である。現代にありながら暖かい空気の漂う作風が特徴と云える。

この作品は1973年イギリスの民謡を元に書かれた。

I. A-Roving

II. I have a bonnet trimmed with blue

III. O waly waly

IV. Dashing away

この作品を気に入られたなら、ラターのクリスマス曲、教会音楽など合唱曲を聴かれる事をお薦めしたい。

ジャコモ・プッチーニ (伊1858~1924) : 菊

プッチーニは「ボエーム」「蝶々夫人」「トスカ」など、多くのオペラを残した。

「菊」は1890年プッチーニのパトロンであった、アオスタ公アメデオI世が44才の若さで亡くなり追悼の為、一晩で書き上げたと云われる。

行き場のない悲しみ、慟哭…。オペラ作家にしか書けない室内楽曲である。

菊は聖なる高貴な花であり、ヨーロッパでも故人を偲び献花に使われる。

山田栄二 (1948~) : 生き物たちに捧ぐ 第二組曲 ※弦楽合奏版初演

原曲は管楽器の為に書かれている。今回の演奏会の為に弦楽合奏版に改訂された。

曲は、まさに猪突猛進な「1.いのしし」、海の中ユラユラと神秘的に浮かぶ「2.くらげ」、楽しくマイペースに働く「3.フンコロガシ」、蝶の中の女王「4.あげはちょう」は、独り可憐に舞っている。「5. ナマケモノ」は、オシャレな伴奏にのってコントラバスで演奏される。哲学者の様に深淵な佇まいの「6.シーラカンス」、チョロチョロ、キョロキョロ騒がしい「7. 十四匹のねずみたちの行進」の7曲からなる大作である。

山田栄二氏は放っておくと時間を忘れ動物を眺めている事がある。

明るい動物達の生命に触れる内に、その奥にある儚さが滲んで見えてくる様な作品群である。



Eternita

弦楽合奏団

指揮 吉澤真一
 フルート 佐藤真人
 ヴァイオリン 青柳敬子 赤羽根洋子 *奥村琳
 川俣洋子 小岩貴子 小松崎倫子
 土屋恵子 中村美和 福富恵子
 ヴィオラ *亀山由紀子 川沼文夫 ◯中村淑江
 ◯宮田佳代
 チェロ 荒川育子 瀬畑むつみ ◯君島茂
 コントラバス 増山一成
 ステージマネージャー 小林俊夫

◯団友 *エキストラ

弦楽合奏団 エテルニータ

「エテルニータ」とはイタリア語で「永遠」を意味します。
 この弦楽合奏団は2000年03月に行われた宇都宮短期大学百周年記念コンサートで再会し、宇都宮短期大学附属高校音楽科(あるいは宇都宮短期大学音楽科)で学んだ有志で結成されました。

そして末永く活動していこうという願いを込めて「エテルニータ」と名付けたのです。

音楽に限らず、何かを学んでいくことに終わりはありません。私たちは世界中の偉大な作曲家達が残してくれた、数えきれないほどの作品に触れ、それを勉強することで少しずつ前進していこうという意思を持った音楽家の集まりです。



指揮 吉澤 真一

宇都宮短期大学附属高校音楽科卒。東京芸術大学器楽科卒。ファゴットを山畑馨、三田平八郎、アルフレド・ヘニゲの各氏に師事。室内楽を森正、吉田雅夫、細野孝興の各氏に師事。また田淵進先生より音楽全般に渡る教えを受ける。第51回日本音楽コンクール入選。NHK洋楽オーディション合格。NHKFM「午後のリサイタル」、「FMクラシックアワー」、「青少年コンサート」等出演。

モスクワ放送交響楽団、ポーランド室内管弦楽団の日本ツアーに参加。
 山田栄二作曲オペレッタ「不思議の国のアリス」完成版初演指揮する。
 宇都宮短期大学非常勤講師。元東京フィルハーモニー交響楽団団員。
 著書「偉大な作曲家より学ぶ18のファゴット練習曲」



エテルニータ顧問 / 作曲・編曲 山田 栄二

1948年宇都宮市に生まれる。宇都宮短期大学作曲科卒業。
 作曲を石黒脩三氏に師事。同短大と同附属高校の講師を務めた後、1984年から作曲、編曲活動に専念。
 作品にオペラ「ゆきと鬼んべ」、「殺生石物語」、「歌法師蓮生」、「那須野巻狩り」、「小山物語」、オペレッタ「不思議の国のアリス」、室内楽曲「博物誌」、「動物園の情景」、「ファーブル昆虫記」、大正琴と語り手のための「手無し娘」など多数。
 1999年県文化奨励賞受賞。



フルート 佐藤 真人

国立音楽大学及びドイツ国立シュトゥットガルト音楽大学卒業。「第33回プラハの春国際コンクールフルート部門」にてディプロマ賞受賞。元ドイツ・フェルバハとヘレンベルク音楽学校フルート科講師。東京ザリステン・あるて室内合奏団・国立音楽大学・東洋大学等オーケストラと共演。リサイタルをドイツをはじめ各地で40回以上開催。「くさの花はこころの鏡」、「佐藤義久フルートと箏のための協奏曲第1、2番他」、「フルートコンサート25周年記念アルバム1・2」リリース。日本クラシック音楽協会審査委員、同協会より特別指導者賞受賞。クロイツ芸術学院院長。NHK文化センター水戸と郡山教室講師。あさかの学園大学講師。現在フルートアンサンブル5団体を指導。2015年台湾・高雄市にて演奏。平成30年度日露外務省主催行事にてウラジオストック市とアルチョム市にて演奏旅行。